



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「聖地旅行」その①  
 いよいよ聖地旅行が始まる。実は聖地旅行にはこれまで何度も誘われてきた。しかも、何人かを同行すると牧師はタダで行けるといっておまけまで付いていた。でも、僕は行かなかった。否、行けなかった。それは聖地旅行だけは、かねがね家内・節子と一緒にいきたいと願っていたからである。でも、家内が心臓移植をし、人工透析が始まることによって、願いはいつしか消え去っていた。その家内は一年と九ヶ月前に真の聖地「天のエルサレム」に一人旅立っていった。  
 そんな一年程前のある日、ロサンゼルス・ホーリネス教会の溝口俊治牧師がオレンジ郡教会に来て、「断腸の思いで言うのだけれど、南加教会連合百周年記念事業の一つとして、先生にイスラエル旅行の団長として行ってはくれまいか」とのたまったのである。この断腸という言葉は彼の時二回も使った。その意味は深い！ 続いて、「長年奉仕している教団内の牧師の中で聖地旅行に行っていないのは先生だけで、他に行ける可能性のある牧師はいない。(頼りないけれど、とは言わなかったが)、連合記念大会を盛り上げるためにもぜひ行って欲しい」と言うのであった。ここで断腸という言葉を使った背景が見えてくるではありませんか。僕には彼の願いは断れない宿命がある。これまで三十数年、彼の謙遜な歩みに倣ってきた。そんな彼を僕は心から尊敬しているからである。  
 更にこのプロジェクトのために、ユダヤ人の知己が多く、その情報に詳しく、過去五回も現地を視察し、昨年も聖地旅行を指揮してきた山本真美子先生が選ばれたのである。そして一緒に準備をしてきた。全米の日系人教会に旅行案内を出したり、ロサンゼルス近郊の教会には再度リマインダーのメールを送ったりした。六月、七月、九月には、近隣の参加者一同を集めて聖地に関する学びをしてきた。結局、今回の旅に二十六名の参加者が与えられることになった。  
 特に今回のハイライトは、エルサレム巡礼はもとより、主イエスがバプテスマのヨハネから洗礼を受けられたというエリコ近郊のヨルダン川での洗礼式や、紀元前七世紀にヒゼキヤ王が命じて作らせた五百メートル以上もある地下水路の探訪、さらには七つほどの世界遺産も訪れる。やが上にも期待が高まるではないか。しかし、シリア内乱もあり、直前まで旅それ自体が危ぶまれたのである。詩篇百二十二篇6節に「エルサレムのために平安を祈れ」というみ言葉があるが、その祈りの必要がこの時ほど痛感させられたことはない。いよいよ十月一日の出發の時だ。だが団長としての責任の重さと不安が心をよぎる(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

